

ナンバリング	B④03	科目名	あそび基礎演習Ⅱ		担当教員	大澤 ちづる 田中 葵 深谷 ベルタ					
ディプロマポリシーとの関連性	①・②・④		担当形態	オムニバス・複数							
テキスト	深谷ベルタ (2018) 「“体験”が感性を育む造形あそび」風鳴舎 その他、適宜配布する。			単位数 授業形態	2単位 演習	開講時期	後期				
<p>講義概要</p> <p>■到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 身体・音楽・造形・言語表現等の観点から保育の内容を理解し、心身の発達や子どもを取り巻く環境等を踏まえ、保育者として子どものあそびや経験内容をより豊かに展開するために必要な知識や技術が身につく。 子どもの遊びや表現活動に必要な遊具や用具、素材や教材等を実践的に活用および作成できる。 <p>■授業の概要</p> <p>身体・音楽・造形表現の観点から、様々な遊びとして現れる具体的な保育の内容を取り上げ、保育の内容と子どもの表現について実技を踏まえながら、そこで子どもが経験することを解説し、豊かな遊びに結びつく環境構成とその展開について検討します。さらにその発展として、上記3分野の表現に言語表現を合わせた合同ワークショップ型授業を実施し、総合的な表現を体得します。授業方法は、主に実技、制作、創作、グループワーク、発表で展開します。</p> <p>◇身体表現：テーマに基づいて身体が作りだす形や動きの広がりを体験し、仲間と共に動きをつくりだしていく楽しさを味わいながら、多様な動きを伴う全身を使った表現を身につけます。子どもにとっての身体表現活動について理解を深めると同時に、他の表現や5領域との関連についての視点を学びます。</p> <p>◇音楽表現：自らの声や言葉、身体、身の回りにあるモノを利用した音素材、身近な楽器などを使って様々な音・音楽遊びを経験します。これらの経験をもとに、身体・音楽・造形・言語表現をより関連づけながら解説します。子どもの表現をみること、聴くことの大切さも学びます。</p> <p>◇造形表現：描くことや制作を体験しながら表現することについて学び、表現された内容、必要となる「環境」「人間関係」等と合わせて検討します。感性や表現力を磨き、表現に対する理解を深め、他の学生と共同し、好奇心や関心をもって自らを育てられるような展開をします。また、保育の中でよく用いられる素材や教材、道具等に親しみ、制作を楽しみながらそれらの特性や活用方法への理解を深めます。</p> <p>■授業計画</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>◇身体表現 (田中)</p> <p>第1回 身の回りのものの形と体を使った見立て遊び、動きの連鎖</p> <p>第2回 言葉と身体表現：オノマトペを使った遊び</p> <p>第3回 造形と身体表現：身近な素材を使った遊び</p> <p>第4回 絵本から全身を使ったおはなしづくりへの発展</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>◇音楽表現 (大澤)</p> <p>第1回 コーラスとボディパーカッション</p> <p>第2回 手作り楽器と音遊び</p> <p>第3回 劇あそび</p> <p>第4回 人形劇における歌遊び～パネルシアター～</p> </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>◇造形表現 (深谷)</p> <p>第1回 自然素材① 葉っぱ、小枝、草木の実等</p> <p>第2回 自然素材② 紙</p> <p>第3回 自然素材③ 毛糸</p> <p>第4回 自然素材④ 風</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>◇合同ワークショップ型授業 (深谷・田中・大澤)</p> <p>第1回 総合的な表現① 光と影</p> <p>第2回 総合的な表現② 風と遊ぶ (凧)</p> <p>第3回 表現のまとめ 身体・音楽・造形・言語の観点から</p> </td> </tr> </table> <p>■準備学習</p> <p>小レポートの作成や実技課題の提示があります。指示に従って授業までに準備すること。本演習専用のファイルを毎回整理し、授業内容の理解定着を図ること。円滑な活動ができるために素材や道具を各自で用意する必要があります。(特記事項を参照)</p> <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 制作物や実技の成果 — 50% 授業での取り組み(ワークショップや活動への積極的な取り組み) — 50% 								<p>◇身体表現 (田中)</p> <p>第1回 身の回りのものの形と体を使った見立て遊び、動きの連鎖</p> <p>第2回 言葉と身体表現：オノマトペを使った遊び</p> <p>第3回 造形と身体表現：身近な素材を使った遊び</p> <p>第4回 絵本から全身を使ったおはなしづくりへの発展</p>	<p>◇音楽表現 (大澤)</p> <p>第1回 コーラスとボディパーカッション</p> <p>第2回 手作り楽器と音遊び</p> <p>第3回 劇あそび</p> <p>第4回 人形劇における歌遊び～パネルシアター～</p>	<p>◇造形表現 (深谷)</p> <p>第1回 自然素材① 葉っぱ、小枝、草木の実等</p> <p>第2回 自然素材② 紙</p> <p>第3回 自然素材③ 毛糸</p> <p>第4回 自然素材④ 風</p>	<p>◇合同ワークショップ型授業 (深谷・田中・大澤)</p> <p>第1回 総合的な表現① 光と影</p> <p>第2回 総合的な表現② 風と遊ぶ (凧)</p> <p>第3回 表現のまとめ 身体・音楽・造形・言語の観点から</p>
<p>◇身体表現 (田中)</p> <p>第1回 身の回りのものの形と体を使った見立て遊び、動きの連鎖</p> <p>第2回 言葉と身体表現：オノマトペを使った遊び</p> <p>第3回 造形と身体表現：身近な素材を使った遊び</p> <p>第4回 絵本から全身を使ったおはなしづくりへの発展</p>	<p>◇音楽表現 (大澤)</p> <p>第1回 コーラスとボディパーカッション</p> <p>第2回 手作り楽器と音遊び</p> <p>第3回 劇あそび</p> <p>第4回 人形劇における歌遊び～パネルシアター～</p>										
<p>◇造形表現 (深谷)</p> <p>第1回 自然素材① 葉っぱ、小枝、草木の実等</p> <p>第2回 自然素材② 紙</p> <p>第3回 自然素材③ 毛糸</p> <p>第4回 自然素材④ 風</p>	<p>◇合同ワークショップ型授業 (深谷・田中・大澤)</p> <p>第1回 総合的な表現① 光と影</p> <p>第2回 総合的な表現② 風と遊ぶ (凧)</p> <p>第3回 表現のまとめ 身体・音楽・造形・言語の観点から</p>										
参考文献	必要に応じて資料を配布するが自ら記録する学びのポートフォリオが資料となる。			特記事項	<p><身体・音楽表現授業への参加について> 必ず動きやすい服装で参加すること。上履きを持参すること。</p> <p><造形表現授業の持ち物について> 道具類は(場合により素材も)各自で用意する必要があります。(同じ道具類が「こどもと文化Ⅰ・Ⅱ」の授業で使われることがあります)。用意すべき道具は：ハサミ、カッターナイフ、ホチキス(ステッドラー)、油性マーカーペン(黒)、液体糊、セロハンテープ、絵筆(2本)です。汚れても構わない服装で参加すること。</p> <p>【課題等へのフィードバック方法】 ・発表に対しては口頭でコメントをする。</p>						
卒業・免許状・資格との関連	幼稚園教諭免許状必修 保育士資格必修			幼保	領域に関する専門的事項 保育の内容・方法に関する科目						
実務経験のある教員等による授業内容	<p>(大澤) 幼稚園での勤務経験を活かし、保育者に求められる実践力を踏まえ、今日的課題である保育における音楽の質について触れながら、授業を展開することができる。</p> <p>(深谷) こどもの城において保育に携わり、「親子工房」、育児相談会等の企画運営の経験を活かし、実際の課題はどんなものか、その解決への取り組み方法、また、その際の問題点などに触れ、より実践的な授業を行います。</p>										